

# まいばらっ子に生きる力を

学校・地域・家庭がつながり、学びの環境が整えられることは、子どもの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むために重要なことです。

家庭での教育が、学校での学びを支える力となり、地域みんなで子どもの未来を応援していくため、まち全体の教育力を高めます。

問 市教委 学校教育課(山東庁舎) ☎55-8109 FAX 55-4040

## 学校 電子黒板で楽しく、分かりやすく

平成28年度に電子黒板機能付きのプロジェクターを市内全小中学校に導入し、学習環境の充実を図っています。



### 生徒の理解が深まります

伊吹山中学校  
理科教諭 寺田 実沙季 先生

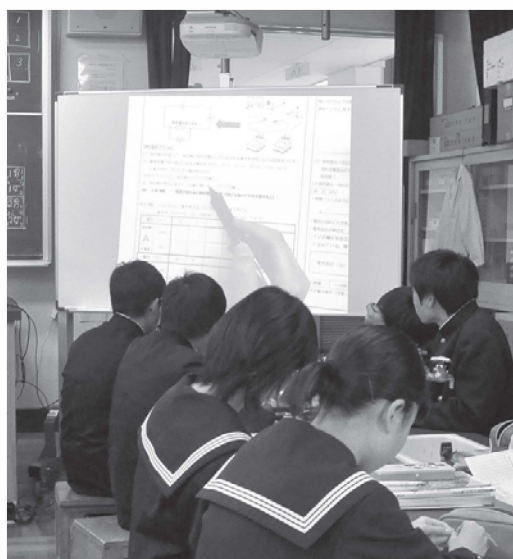
電子黒板を使うようになってから、生徒の理解が深まり、実験中の質問の内容が変わりましたし、集中して授業を聞いてくれます。

理科の授業では、実演が難しい実験の動画を流したり、細かい目盛りの器具を拡大して投影することもできますし、ノートを映して、意見発表やグループ学習にも活用できます。

### イメージしやすい！

電子黒板とは、パソコン上の画像やイラスト、図形を映し出し、画面上で文字や絵を書き込んだり、縮小拡大などを画面に触れて操作できる電子機器のことです。

画像や映像を多く取り入れた授業は、子どもたちの興味関心を高め、意欲的に学習に取り組むことができます。



▲プリントを投影して実験の流れを説明  
(伊吹山中学校 2年生理科の授業)



## 全国に先駆け 小学校で英語の授業スタート！

小学校での英語教育は、平成32年度から全国的に導入されますが、それに先駆け、山東・伊吹地域の小学校は、平成29年度から英語の授業ができる文部科学省の教育課程特例校に指定されました。

また、市と協定を締結している青山学院大学と連携し、英語教育のさらなる充実を図ります。



▲春照小学校では、今年の特徴ある学校づくり事業として、8人の外国籍講師を招き、異文化交流しました。

## 学校を超えた交流で たくさんの出会いと経験を

市内の小中学校では、スクールバス等で市内の他の学校に出向き、地域学習などの合同授業や合同行事を行っています。

社会性を養う機会や、多様な意見に触れる機会の確保、さまざまな体験を積むことを目標に今後も進めていきます。



▲河南小学校と山東小学校では、5年生の児童が合同で、総合的な学習として、地藏川や山室湿原の見学を行いました。

## 学校 10分間運動で心も身体も元気に！

市内のすべての小学校で10分間の運動をする「健やかタイム」の取組が始まっています。また、ICT技術を活用した健康増進と体力向上に取り組み、その成果を上げています。



### 欠席ゼロの児童数が 前年の1.5倍！

春照小学校  
体育主任 伊部 学 先生

朝、10分間運動の始まりの音楽が流れ出すと、子どもたちは一斉に体育館や廊下に出て、楽しく元気よく身体を動かしています。

運動を終えた子どもたちは、スッキリ目覚めた頭で1時間目の授業に集中し、落ち着いて学習に取り組むようになりました。

欠席ゼロの児童数も前年の1.5倍以上に増えましたし、食欲もアップして給食の残菜も減りました。子どもたちの問題行動も少なくなり、保護者からは規則正しい生活を送るようになったと好評です。

身体を動かしながら頭を使う運動は、脳が活性化し、学力アップにもつながります。



◀春照小学校の10分間運動「ten@トレ」。曜日ごとに運動メニューが変わり、遊び感覚で楽しく運動。平成27年には、NHK Eテレ「Eダンスアカデミー」に全校児童が出演し、ダンス体操を披露。



▲腕時計型ウェアラブル端末では、日々の歩数データを10分ごとに収集可能。

### ICTで活動の「見える化」

春照小学校と山東小学校では、平成27年12月から1年間、児童が腕時計型の端末を着用し、日常の運動量(歩数)を計測。計測したデータは、ICT技術を活用して分析し、楽しく遊び感覚で取り組める運動プログラムを実践しました。

これは、市が株式会社N

TTドコモや株式会社ルネサンス、山梨大学の中村和彦教授と連携して実施したもので、子どもに応じたアプローチが意欲向上につながったことを評価され、昨年11月に「第5回健康寿命をのぼそう！アワード」の厚生労働省雇用均等・児童家庭局長賞を受賞しました。



### 河南小学校・河南中学校が 中華人民共和国 四川省の小中学校と連携協定

河南小学校と河南中学校は、中国四川省にある華陽小学と蜀城中学とそれぞれ連携協定を結びました。醒井は「靈仙三蔵」の出身地といわれており、中国と縁が深い地域であることから、教育および文化交流をきっかけに、相互理解を深めていくことが出来ればと、今回、協定を締結。

今後は、四川省から児童と生徒らが米原市を訪れるなど、交流を進めていきます。

◀協定を締結し、握手する華陽小学の黄校長(写真左)と河南小学校 前川校長(写真右)(平成28年10月24日)





## 地域 地域で育てるまいばらっ子

市内の全小中学校では、地域や大学、企業と連携し、豊かで専門的な知識をもった人材を講師に迎え、地域の素晴らしい自然や文化遺産に触れる「特色ある学校づくり事業」に取り組んでいます。



写真①里山体験/柏原中学校 ②あまんぼう作り体験/息長小学校 ③親子でブラッシング/米原小学校 ④伊吹山お花畑観察会/伊吹小学校  
⑤地域歴史学習/坂田小学校 ⑥レイクスターズと運動を楽しむ/春照小学校 ⑦学力補充教室「いつやるの?今でしょ!教室」/大東中学校

## 地域で子どもの見守り活動 —子どもたちが安全・安心に通学できるために— スクールガード

現在、約900人の地域のみなさんが、学校安全ボランティアとしてスクールガードに登録し、子どもたちの登下校を見守っています。

この見守り活動は地域防犯活動にもなり、犯罪の抑止にもつながります。

近江地域で活躍!  
**おうみ地域防犯安全パトロール隊**  
400人を超える隊員が、児童の通学の見守り活動をしています。



## 8・3(ハチ・サン)運動にご協力ください

8・3運動は、小学校の登下校時刻である午前8時頃と午後3時頃に、なるべく外の用事を行いながら、子どもたちを見守ろうというものです。

散歩や買い物、畑の水やりなど、普段の生活の中で、まわりの子どもたちの存在を意識し、見守り活動を行いましょう。

問 市教委 教育総務課(山東庁舎)  
☎ 55-8107 FAX 55-4040





写真①たご揚げ/大原小学校 ②はびろウォークラリー/柏原小学校 ③外来種から伊吹山を守れ!/伊吹山中学校 ④ほたるパレード/山東小学校  
⑤地藏川でハリヨの観察/河南小学校 ⑥合唱指導/双葉中学校 ⑦学力向上教室/米原中学校

先日、縦・横だけではなく「斜め」の人間関係の必要性を学ぶ機会があり、まさしくこれが地域の人の触れ合いではないかと思

だと思っています。 学校や園の要望に合わせ、その活動を支援できる人との間をつなぐ「地域コーディネーター」をご存知ですか。

子ども園に園芸サポート、小学校の休み時間に昔の遊びを紹介する高齢者、中学校の土曜学習を支援する大学生、部活動をサポートする外部指導者、除草作業に協力してくださる人…さまざまな活動のボランティアを募ったり、学校に紹介したり、一緒に活動したりしています。地域に依頼に伺うと不審がられることもあり、まずは活動を

を知ってもらうことが必要だと思っています。 現在は、河南・柏原・米原・伊吹山学区に先行的に配置されています。河南学区で活躍されている辻みや子さんにお話を伺いました。

子どもは地域の宝です。子どもたちはいろいろな人と接することで、多様な価値観に触れ、心豊かに育つと思います。そして、子どもたちが地域を愛する大人になつてくれることを願っています。

子どもは地域の宝です。子どもたちはいろいろな人と接することで、多様な価値観に触れ、心豊かに育つと思います。そして、子どもたちが地域を愛する大人になつてくれることを願っています。



子どもは地域の宝です。子どもたちはいろいろな人と接することで、多様な価値観に触れ、心豊かに育つと思います。そして、子どもたちが地域を愛する大人になつてくれることを願っています。

河南学区 地域コーディネーター 辻みや子さん



▲河南中学校での和太鼓体験。指導した和太鼓チームには、辻さんも所属。

## 中学生職場体験 —働く大人の姿に学び、将来の生き方を考える5日間—



▲平和堂米原店で職場体験を行う米原中学校の生徒

滋賀県では、中学生チャレンジウィークとして、将来の自分の生き方について考える機会をつくり、社会人として自立できる力を身に付けられるよう、中学2年生が企業や工場、店舗に出向いて5日間の職場体験を行います。

職場体験を終え、生徒は「仕事の大変さがわかった」「進路を考える時に生かしたい」など、自分の将来を考える機会となったようです。

職場体験中は、お客様や従業員とのコミュニケーションを大切にしてもらいました。学校でも家庭でも体験できない「働くことの意義」を実感できる、良い機会になったと思います。



フタバ 近江店 店長 小笹 恭弘さん

# 家庭 私が大切にしたい子どもと家庭のこと

家庭での教育は、個々の生活スタイルに合った触れ合いから——  
市社会教育委員会議の委員長として作成に携わられた「家庭において大切にしたい6つのこと」について、お話を伺いました。



米原市社会教育委員会議  
委員長 岩脇 明美 さん

## 自分の家庭のスタイルに 合わせて

この「家庭において大切にしたい6つのこと」は、社会教育委員のみなさんで話し合っただけで作りました。「私たちの家庭では、こうしよう」と家族で話し合っでもらう機会になれば良いと思っています。

子どもは、どんな家庭であろうと、どんな親であろうと、家庭が一番好きです。

極端な例ですが、仕事が忙しくて、

## 学校・地域・家庭のつながりを 大切に

子育てや家庭教育は、決して個々の家庭だけの問題ではありません。一人で抱えこまず、学校や地域に上手に甘えれば良いと思います。

私も幼稚園のPTAの役員会や、地域の婦人会に子どもを連れて行ったとき、先生や地域の人が子どもの面倒を見てくれたので、その時間は子どもと離れ、自分の時間として楽しんでいました。

子どもと一緒に参加したことで、多くの人のつながりができ、子育ての悩みを相談できました。また、近くにおじいちゃんおばあちゃんがいてくれて、子育てのサポートをしてくれたことも大きかったです。子どもにとって、いろいろな世代や立場の大人と接する良い機会になったと思います。

## 言葉に出さなくても伝わる愛情

学校の先生は「あなたのお兄ちゃん は勉強が良くできたのに：」なんて言ったりしません。でも、家庭では、言葉を選ばずに子どもに話してしまい、後悔するときもあると思います。

しかし、家庭では言い直しができません。「あの時は、ああ言ったけど

……」  
私も子育てで「子どもを傷つけたかな」と心配した時もありましたが、ある時「本当は大好きなんやで」と子どもに言ったことがあります。そうしたら子どもは「そのことやったら、もう知ってる」ってすぐに言ったんです。  
子どもは、親の言うことを聞かなくても、親の行動は見ていて、真似をするんですね。そして、家族の触れ合いの中で、子どもへの愛情も自然と伝わっているんだと思います。

### いま一度家庭教育について考えてみませんか？ 家庭において大切にしたい6つのこと

- 1 最近子どもを抱きしめましたか？
- 2 子どもの話を聞いていますか？
- 3 親が子どもの手本になっていますか？
- 4 お手伝いさせていますか？
- 5 いろいろな体験をしていますか？
- 6 ネット依存になっていませんか？



親子カレンダー2017  
市内公共施設で配布中！

問 市教委 生涯学習課(ルッチプラザ内) ☎ 55-8106 FAX 55-4556



## 「ともに学び、ともに育つ、 学びあいのまち まいばら」

教育大綱・第2期米原市教育振興  
基本計画を策定しました

市では、平成23年に策定した米原市教育振興基本計画を見直し、近年の社会情勢や教育関連法の改正等の教育を取り巻く状況の変化を考慮し、今後の教育や生涯学習の目指すべき姿や方向性を示した「第2期米原市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画はおおむね10年を見据えた市の教育の指針で、社会情勢の変化や計画の進捗状況に基づいて、5年をめぐりに見直しを行います。

また、平成27年の法律改正により、首長と教育委員会による総合教育会議での検討を踏まえ教育に関する大綱の策定が義務づけられました。市では教育大綱を本計画の基本理念・基本目標として位置付け、両者を一体的に策定することで、教育施策のさらなる充実を図りました。

### 基本理念

ともに学び、ともに育つ、  
学びあいのまち まいばら  
～自分もひと大切にし、  
地域を誇る人づくり～

### 基本目標

- 1 心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します
- 2 学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます
- 3 一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくります
- 4 生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくります
- 5 米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます

問 市教委 教育総務課(山東庁舎)  
☎ 55-8107 FAX 55-4040

## ふるさとに誇りと愛着を

私たちは、「ふるさと」に誇りを持って生活しています。

自然や歴史という資源を活用した「ふるさと学習」が、地域の多くの人の支えによって推進されていることは、米原教育の大きな特徴だと思えます。子どもたちが米原の良さを自覚し、ふるさとに誇りを持って育っていくためにも大変重要な取組です。

### 心豊かに、たくましく

市では「まいばらっ子に生きる力を」のスローガンをもとに、みんなが「伊吹山に登ろう」、「ふるさとを描こう」、「本を読もう」の三つに継続して

取り組んでいます。豊かな自然やいろいろな人との関わりの中で、心の豊かさやたくましさや養われます。

また、子どもたちには、自尊心を育んでほしいと願っています。「自分は大切にされている」と感じることが、人間形成の礎になると言っても過言ではないでしょう。

### 地域の力を学校に

これからも、地域に根ざした取組を進め、「地域とともに歩む学校」・「地域の力を学校に」を大切にしながら米原教育を推進していきたいと考えています。

## まいばらっ子のみなさんへ

自分の良いところをいくつか言えますか。

友達の良いところはどんなところですか。

自分や周囲の人を

大切に作る気持ちを持ちましょう。

そうすると、みんなが優しい笑顔で暮らせます。

そして、住んでいるまちの自然や歴史に

興味を持ってください。

私たち大人は、

まちぐるみで

みなさんを

応援していますよ。

まいばら しきょういく いん かい  
米原市教育委員会  
きょういくちやう やま もと た い ち  
教育長 山本 太一

